

平成29年度安全対策連絡協議会開催結果

1 開催日時

平成30年3月5日午後3時～午後4時30分

2 開催場所

在マルセイユ日本国大使館

3 出席者

在留邦人12名

4 当地治安情勢等についての説明

(1) 平成29年中の邦人犯罪被害（当館認知分）

○当館が認知した件数は31件（スリ21件，置引き5件，その他5件）

○スリ・置引き被害者26名の内訳：旅行者19名，出張者5名，在住者2名

○旅券を盗まれた人が当館に連絡してくるケースが多いため，当館が認知する大半の被害者は短期渡航者（旅行者，出張者）である（31名中25名が短期渡航者）。在住者の犯罪被害件数は上記よりも多いものと考えられる。

(2) 一般治安情勢

ア 傾向

○銃撃事件（主に薬物密売に関する報復事件）～マルセイユ，トゥールーズ，ニース等のシテや繁華街で発生。2018年に入ってマルセイユ及び近郊で連続発生。

○強盗事件～日没後にスーパー，レストラン，ファーストフード店で発生。主に銃器（カラシニコフ銃，拳銃）を使用。

イ 対策

○外出の際，出来るだけ人通りの少ない所を避ける。

○薄暗くなったら，出来るだけ徒歩での移動を避ける。

○万が一，強盗犯に襲われた場合，抵抗することなく（犯人を刺激することなく），犯人の要求する金品を手渡す。日没後の外出はなるべく控える。

(3) テロ情勢

ア 2017年の国内のテロ事件

○マルセイユの鉄道駅における刃物を用いた襲撃テロ事件（10月1日）

- パリ郊外での車両による兵士襲撃事件（8月9日）
- パリでの車両による国家憲兵隊車両への突入事件（6月19日）
- パリでのハンマーによる警察官襲撃事件（6月6日）
- パリのシャンゼリゼ通りにおける銃撃テロ事件（4月20日）

イ 対策

○旅行に行く時等は外務省海外安全HPや管轄公館HPで現地の治安情勢を確認する。

○万が一、自分の近くでテロが発生した場合：安全確保（逃げる、隠れる）、連絡（家族、勤務先）、事件に関する情報収集（同時多発又は連続発生の可能性があるため。逃走中の犯人の有無等）を行う。

※ 精神異常者による連続車両突入事件～2017年8月、マルセイユ市内で発生（13区のバス停→11区のバス停→旧港で逮捕）。テロではないものの、十分な注意が必要。

（4）皆様へのお願い

○在留届～登録と随時更新（特に電話番号、メールアドレス）

○たびレジ～国外旅行、国外出張

○出張者、親戚、友人等が来る時～空港・駅送迎、治安情報の伝達

※ 不幸にも犯罪被害に遭われた際には、当館への情報提供をしていただくようお願いいたします。

（5）当館の取組み

○治安情勢に関する情報収集・分析、情報発信～領事メール、メルマガ等

○在留邦人情報の把握

○日系企業、邦人団体等との連携強化

○緊急時（テロ、大規模事故、自然災害等）の安否確認～在留届やたびレジ等の情報に基づいて実施

5 出席者からの犯罪被害等の情報

- マルセイユ市内で、車に乗って渋滞で停止していたところ、スクーターに乗った2人組が前方の車の後部トランクを開けて荷物を盗んでいくのを見た。荷物を盗まれた車の運転手は全く気付いていなかった。
- マルセイユ市内で、自宅にいたところ、何者かが玄関ドアをこじ開けようとしたため、警察に通報したが、警察は来てくれず1時間後に警察から状況確認の電話がかかってきた。
- マルセイユ市内で、スクーターに乗った2人組が車の運転手にタイヤがパン

クしていると告げて降車させ、車を盗んだ。

- エクス＝アン＝プロヴァンス市内を徒歩で移動中、女性数名に囲まれ、ズボンの前ポケットに入れていたiPhoneを盗まれたが、すぐに気付いて取り戻した。
- 出張者が出勤途中で路上で男にカバンを盗まれそうになった。
- 徒歩で移動中、数名が近づいてきて「カラテ、カラテ」と言って蹴り技を教える振りをしたので、見ていたところ、その隙に所持品を盗まれた。
- エクス＝アン＝プロヴァンス市内で車を駐車していたところ、窓ガラスを割られてボンネットを開けられ、バッテリーを盗まれた。
- マルセイユ市内のトラム内で所持品を盗まれた。
- パリー＝マルセイユ間のTGV内で、出張者が所持品を盗まれた。
- iPhoneが盗まれた場合の対策として、データの自動消去や位置の特定が出来るように設定している。